

研究課題名	末梢挿入式中心静脈カテーテル留置術における安全性と所要時間について：X線透視撮影装置と中心静脈カテーテル留置用ナビゲーション装置を用いた方法の比較
研究期間	2025年02月04日～2026年3月7日
研究の対象	<p>倫理審査委員会承認後～2025年5月31日に広島大学病院に入院されている患者さんで以下に該当する方</p> <p>①DR室で救急集中治療科医師・特定看護師がPICCを留置する患者さん</p> <p>②集中治療病棟（ICU・ECU・HCU）でsherlock 3CGを用いて救急集中治療科医師・特定看護師がPICCを留置する患者さん</p> <p>ただし、以下に該当される方は対象に含みません</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18歳未満の方 ・挿入予定部位へ過去に放射線照射歴のある方 ・挿入予定部位に過去に手術歴のある方 ・sherlock 3CGを使用される患者さんのうち、心電図上でP波を認めない方
研究の目的・方法	<p>研究目的：末梢挿入式中心静脈カテーテル（peripherally inserted central venous catheter：PICC）の挿入においてX線透視撮影装置と中心静脈カテーテル留置用ナビゲーション装置を用いた方法を比較し、両者の挿入に係る所要時間における有用性を検討することです</p> <p>研究の方法：PICC挿入に係るデータを診療録から収集します。通常に行われるPICC留置以外の行為は発生しません</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：年齢、性別、身長、体重、病名、除外基準に関する既往歴、バイタルサイン（意識レベル、血圧、心拍数、呼吸数、SpO₂、体温）、心電図調律（P波の有無）</p> <p>挿入年月日、カテーテル先端位置確認方法（X線透視撮影装置・sherlock 3CG）、アプローチ（左/右）、カテーテルサイズ（Fr）、カテーテル挿入長、所要時間（準備時間*/処置時間*）、静脈穿刺回数、カテーテル先端位置調整の回数、合併症の有無（動脈穿刺、神経穿刺、皮下血腫、穿刺部位周囲の出血）、胸部レントゲン撮影の回数、X線透視撮影回数・時間、PICC留置経験年数、挿入部位（上腕尺側皮静脈、上腕橈側皮静脈、肘正中皮静脈、その他）</p> <p>※準備時間＝患者が透視室へ入室して準備開始を宣言した時間（X線透視装置使用群）もしくは挿入者が準備開始を宣言した時間（sherlock 3CG使用群）から穿刺開始までの時間</p> <p>※処置時間＝穿刺開始時間からPICC留置完了の（カテーテル先端位置を確認し、固定を終えた）時間</p> <p>情報の管理責任者：広島大学病院看護部 ICU 井上隆治</p>

利用または提供を開始する予定日	2025年02月04日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院看護部 ICU 副看護師長 井上隆治
その他	特記なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 看護部 ICU 担当者：井上隆治 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5586</p>